甲府一高あおぞら会 年報2015

AOZORA

2016年2月10日発行（年1回発行）　vol.1　創刊号

〒252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台1-7-7 おぐちこどもクリニック内 甲府一高あおぞら会
ホームページ http://www.ymkp.net/aozora/　フェイスブックhttp://urx.nu/il6t

「甲府一高あおぞら会」の誕生

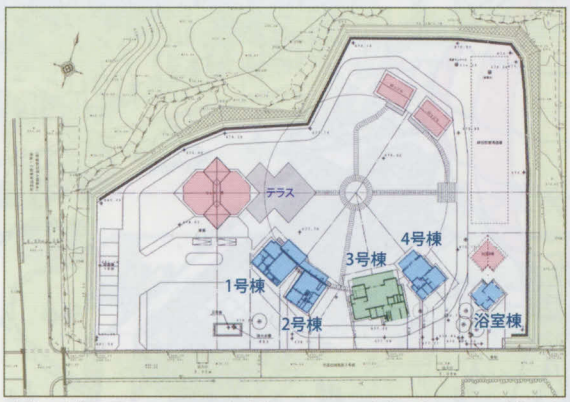
甲府一高あおぞら会実行委員　谷口百合子（甲府一高東京同窓会一紅会 会長）

東京同窓会の女性のネットワークに一紅会があります。毎年講演会を開催しているのですが、平成25年3月におぐちこどもクリニック院長の小口弘毅先生（45年卒・現甲府一高あおぞら会実行委員）に講演して頂き、その中で「みんなのふるさと夢プロジェクト」として、北杜市白州に難病のこども達のためにキャンプ場を建設していることの紹介がありました。その後みんなの夢が実現し、キャンプ場の名前が「あおぞら共和国」になりました。同窓会記念誌には「私たちはあおぞら共和国の建国を応援します」と80名余りの甲府一高同窓生の名前が載っていました。大勢の同窓生の応援の気持ちを形にして、あおぞら共和国を支援したいという思いから、会を立ち上げる計画が持ち上がりました。小口先生の元にあおぞら共和国応援し隊が集まり、名簿を整備することから始まり、会則、郵便振込書の準備、実行委員会の立ち上げ、今後の予定等を話し合い、平成27年2月15日に「甲府一高あおぞら会」が発足。4月のあおぞら共和国での総会で、会員の皆さまの承認により、活動を開始しました。平成27年12月末日の時点で会員数は174名となりました。

“みんなのふるさと夢プロジェクト”の同窓生への紹介

難病のこども支援全国ネットワーク みんなのふるさと夢プロジェクト実行委員・小児科医　小口弘毅（甲府一高あおぞら会実行委員）

難病の子どもたちのためのキャンプ場建設と運営を「みんなのふるさと夢プロジェクト」と言います。
認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク（以下難病ネット）」のプロジェクトです。



実際の建物配置図　完成済　3月完成予定　建築予定

このプロジェクトを『夢』と名付けたのですが、わずか4年間で本当に夢のような発展を遂げ、たくさんの皆様から多くのご寄付をいただきました。現在では夢ではなくなり、建物は数年以内に完成の見込みが立っています（左図）。夢プロジェクトの中心メンバーである小児科医の仁志田博司先生、後藤彰子先生、そして認定NPO法人難病ネット現会長の小林信秋さんと2010年の暮れ、居酒屋に集まり常設キャンプ場計画の初会合が開かれました。その場で計画を即座に“みんなのふるさと夢プロジェクト”と名付けたことを鮮明に憶えています。そして2011年7月に代々木のオリンピック記念公園で“みんなのふるさと夢プロジェクト”の結成式を実施しました。様々な募金活動の中で、最もインパクトが強かったのは恐らく水道橋から白州まで170kmのチャリティウォーク（2012年春から秋、とびとびの週末、8日間）ではないでしょうか。車イスの子どもを含めての長距離ウォークで、その間に実行委員の間に強い絆が生まれ、プロジェクトを成功させるという意思確認が出来ました。このウォークがマスコミに取り上げられたことにより、寄付が増えてきました。白州でのウォークイベントも継続する事になりました。

2011年 伐採式　2013年 起工式

2014年 1号、2号棟、浴室完成　2015年夏4号棟完成

2015年12月 3号棟（5棟目）を建築中

このキャンプ場は、難病ネット会員の投票によって2014年に“あおぞら共和国”と命名されました。日照時間日本一という明るい北杜市に建てられているキャンプ場（レスパイト施設）にはぴったりの名前だと思います。難病あるいは障害のある子どもが家族とともに自然の中でゆったりと数日間過ごす事が出来る施設は規模が小さくとも、山梨が誇ることができる場所になると思います。私の兄弟は皆、強行遠足を「誇り」としている甲府一高OBです。このプロジェクトに長男の私は小児科医として、次男の博はプロジェクトの許認可の書類作成、そして偶然にも25年前から小淵沢に住んでいる三男の均は大工として関わっています。これは偶然というより深い縁を感じており、亡き父親が導いてくれたような気がします。まさに”Dreams come true!"となりつつあります。しかしここからが本当のスタート。キャンプ場運営には多大の経費が必要で、多くの皆様からの継続的な支援が不可欠です。ぜひ、あおぞら共和国に来て、見て、美味しい空気と自然を味わっていただき、引き続きのご協力をお願いいたします。

甲府一高あおぞら会の実行委員

甲府一高あおぞら会 会長　露木和雄

私は韮崎市在住です。山梨県にレスパイト施設が建設されることは嬉しく誇りに思います。甲府一高あおぞら会実行委員会は、2ヶ月に一度、神奈川県相模原市の「おぐちこどもクリニック」にて開催し、「あおぞら共和国」建設や運営の支援のために、熱く話し合っています。この機会に一高の先輩や後輩の委員の皆さんと新たな絆と友情を育んでいます。甲府一高あおぞら会の将来に何が待ち受けているのか委員全員ワクワクドキドキしています。只今若手実行委員募集しております。

「認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク」とは

難病のこども支援全国ネットワーク みんなのふるさと夢プロジェクト実行委員 田伏純子（甲府一高あおぞら会実行委員）

「難病」は患者数が少ない場合が多く、相談できる仲間も少ない・・・
そんな方々のネットワークづくりのお手伝いをしている団体です。

「あおぞら共和国」は認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク（以下難病ネット）が建設中のレスパイト施設です。難病ネットは約30年前に難病の子どもの親と心ある医師が集まり活動をスタートさせました。難病の家族はさまざまな困難をかかえており、それを乗り越えるには親の会とそのネットワークが重要だったのです。難病ネットは、その後大きく発展して現在、電話相談や全国9か所でのサマーキャンプ“がんばれ共和国”（下写真右）の開催、シンポジウムや研修会・講習会などの開催などの活動をしています。私自身も、娘（下写真左の中央）が突然希少難病を発症し余命は2～5年と聞かされ混乱のただ中にいた時、親の会を紹介され仲間がいることや、情報が少しでも得られることにどれだけ励まされたかしれません。難病ネットはそうした親の会同士の連絡会も大きな活動の一つとなっています。

私（右）と娘と家族と支援者たち

サマーキャンプ「がんばれ共和国」

支援

甲府一高あおぞら会

難病の子どもとあおぞら共和国

子どもの難病に指定されている病気は700以上にのぼり、これらの難病と闘う子どもたちは約25万人に達しています。小児がんや心臓病、脳性麻痺やダウン症など病気の種類も様々ですし、子どもたちの状態も歩ける・走れる子から、車イスそれもストレッチャーに近い大型の車イスを使っている子までいます。また、突然大声を出したり走り回るので目が離せない子もいます。子どもの難病は患者が成長発達すること、きょうだいがいてその配慮が必要なこと、親が若いため経済的な負担が大きいことなどたくさんの困難があります。そうした難病の子にとって、病院・施設での生活だけでない旅行を味あわせたい、きょうだい達にも家族旅行の経験をさせたいという思いから「あおぞら共和国」は生まれました。

新緑ウォーク2015

200名以上が参加した12km（JR日野春駅～あおぞら共和国）チャリティウォーキング
甲府一高あおぞら会が共催しました。

「あおぞら共和国」支援のためのチャリティウォーキング「新緑ウォーク2015」が、4月25日に「甲府一高あおぞら会」と「難病のこども支援全国ネットワーク」との共催で開催されました。約200名の参加者が、JR日野春駅から「あおぞら共和国」までの約12kmを一般コースと自然観察路コースの2コースに分かれてウォーキングを楽しみ、ゴールの「あおぞら共和国」では完歩パーティも開かれました。当日は天候に恵まれ、平地より3週間遅い満開の山桜と木々の柔らかい芽吹きが参加者を歓迎してくれたことは大変嬉しいことでした。「新緑ウォーク2015」参加と、「あおぞら共和国」へのご支援ありがとうございました。

甲府一高あおぞら会の総会（上写真右下）が同日、あおぞら共和国で開催され、決算や事業報告、予算等が承認されました。

チャリティウォーキングの歴史

チャリティウォーキングは「“みんなのふるさと夢プロジェクト”の同窓生への紹介」の項で小口氏が述べているように、2012年の170kmから始まりました。コースは変化していますが、毎年開催され、年々参加者が増えています。2013年より年2回の開催となりました。一緒に楽しみながら行動して感動を共感し、子どもたち、その家族、支援者との大きな絆が生まれ、広がっていくことに価値があることを実感しています。

最初のチャリティウォーキング
＝2012年春～秋にかけて 水道橋から白州まで、8日(1泊2日×4回)で170km
左 水道橋～八王子3月
中 八王子～大月4月
右 甲府～白州10月

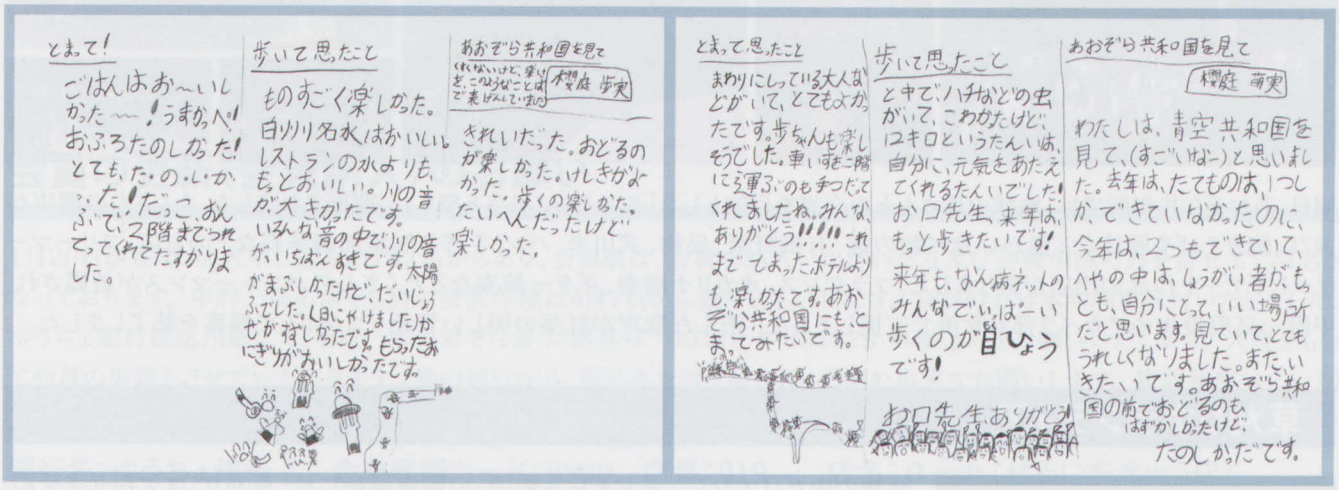
左 新緑ウォーク2013の2回目
5月日野春～白州12km
中 新緑ウォーク2014
4月日野春～白州12km
右 紅葉ウォーク2014
10月日野春～白州12km

新緑ウォーク「助っ人」体験　甲府一高あおぞら会 副会長　軽石泰孝（左写真）

今回初めて、車椅子を押しながらのウォーキング参加となりました。歩実ちゃんとご一緒させてもらいましたが、歩実ちゃんは太陽の日差しをいっぱい受けて笑い声が絶えず、とても楽しそうで、私の方が癒され元気付けられ嬉しくなりました。また、いつもサポート役のお母さんにも、少しでもウォーキングを楽しんでもらえたかなと思います。別れ際の歩実ちゃんの何とも言えない笑顔に、また「助っ人」志願の思いを強くしました。

新緑ウォーク 感想文　櫻庭歩実ちゃん（上写真右、右写真左）　櫻庭萌実ちゃん（右写真右）

一卵性双子の４年生、櫻庭萌実＋歩実のお二人のウォーク感想文（下写真）です。二人は妊娠28週、出生体重1000gくらいで生まれた未熟児です。歩実ちゃんは脳性麻痺の合併症がありますが、明るく元気に育っています。萌実ちゃんは、何時も歩実ちゃんに寄り添い、感想文も歩実ちゃんから聞き取って書いてくれました。ですから同じ筆跡なのです。萌実ちゃんは感想文の中に何度も感謝を表明し、「12kmは短か過ぎ。もっと歩きたかった」と書いてくれました。将来は看護師になりたいそうです。きっと優しく頼もしい看護師さんになってくれることでしょう。



新緑ウォーク2016の案内と参加申し込み

2016年の新緑ウォークは4月23日（土）に開催いたします。JR日野春駅から白州の「あおぞら共和国」まで約11kmのウォーキング。今年は自然を楽しみながら車イスでも可能なコースです。専用の申し込み用紙にご記入、FAXしていただくか、ホームページからお申し込みください。どなたでも参加いただけます。昨年までのウォーキングの詳細はホームページに掲載しておりますので、参考にご覧ください。
ホームページ：http://www.ymkp.net/aozora/　住所、FAX番号、メールアドレスは裏表紙参照。

日　時　4月23日（土）小雨決行　　**お申込締切 4月15日**

集　合　JR日野春駅前公園　10時10分～受付会計
新宿08:00＜スーパーあずさ＞09:28甲府09:32＜各駅停車＞09:59日野春　◎お車でおいでの方はゴールに駐車可能です。事前予約してください。ゴールに集合し、スタート地点に送迎します。

日　程　10時30分頃出発 JR日野春駅～あおぞら共和国まで11km 約4時間
14時頃から あおぞら共和国で完歩祝いパーティ&あおぞら共和国見学
16時頃解散　帰りは小淵沢駅まで乗り合いタクシー(ジャンボタクシー2台でピストン輸送します。)
（甲府一高あおぞら会の会員の皆様はゴール到着後、総会を開催します。）

参加資格　どなたでも（一高同窓生でなくても）参加可
お子様～高齢の方、色々な方が参加されています。安全のため、全体での参加人数は200名程度まで。団体保険加入のため参加登録が必要です。混雑を避けるため事前登録のご協力をお願いします。

参 加 費　1,000円（必要経費の残りは募金とします。　小学生以下100円-保険代）

服　装　帽子、気温差に対応できる上着、歩きやすい靴　**持ち物**　昼食、飲み物、タオルなど

4号棟完成しました!! 4号棟贈呈式

ロッジ4号棟が完成し、最大30名が宿泊可能となります。4号ロッジの最大寄付者である「ザ・レジェンド・チャリティプロアマトーナメント」殿（代表青木功氏・王貞治氏・日野皓正氏）の青木功さん、日野皓正さんにご出席いただき、9月25日に贈呈式が行われました。また、4号棟の太陽光発電・蓄電システムは日本テレビの24時間テレビ様からご寄贈いただき、その贈呈式も併せて行われました。たくさんのメディアの方々にも来ていただきました。

紅葉ウォーク2015＆あおぞらふるさと祭り

10月17日に認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク主催のチャリティウォーキング「紅葉ウォーク2015」が開催され、約100名の参加者が、JR日野春駅から「あおぞら共和国」までの約12kmを歩きました。甲府一高あおぞら会は、新緑ウォークと同様に難病の子どもたちといっしょに歩く「助っ人」や遅れた人の送迎などを支援しました。来年度も同じ時期に開催予定です。ホームページやフェイスブックなどでお知らせします。どなたでも参加できますので、ぜひお申し込みください。

同日、あおぞら共和国では、地域の皆さんとの交流を目的とした「あおぞらふるさと祭り」が開催されました。たくさんの露店が並び、焼きそばや豚汁など温かい食べ物の他、有機野菜、果物、武川米、パン、手作り無添加調味料などのお店、フリーマーケットやアート作品の出店がありました。フラダンス、オカリナ演奏、ギター演奏などたくさんのパフォーマンスが披露され、甲府一高現役生のアカペラ部も歌声で支援しました。澄んだ歌声が紅葉の美しい景色とコラボして観客を魅了しました。

草刈りボランティア

建物の中だけでなく、「あおぞら共和国」の環境維持には「草刈り」は欠かせません。敷地とその周辺を雑草のない状態を保つには、継続しての「草刈り」が必要となります。特に、夏はていねいな「草刈り」をこころがけたいと思います。「草刈り」についてはホームページやフェイスブックなどで案内をいたしますので皆様の協力をお願いします。

利用者の声　宿泊施設の利用も始まっています。

すてきな「非日常」　下河辺さん

私たちは4号棟、おともだち家族は1号棟に泊まりました。おともだち家族は2日とも浴室棟を利用。家族三人で楽しめたようです。こどもたちは和室でゴロゴしながらDVD観賞。そんな様子を見ながら大人たちはおしゃべりや飲み食い。早朝にヨガやピラティスをしたり、外の景色を眺めながら音楽を聴いたりと今回も心地よい「非日常」を楽しんでまいりました。なぜだかホテルや旅館では「すみません」という言葉が何度も口をつきますが、このロッジではそれがない。それだけで、こんなにのびのび過ごせるんですね。これからもたくさんの方に使っていただき、この気持ちをぜひ実感していただきたいです!!

大きいお風呂に家族みんなで入りました!　吉竹さん

お天気にも恵まれました。一日目は精進ヶ滝の見学、二日目は「べるが公園」に行き、水遊びもしました。浴室棟を利用させていただきました。私一人で普通の温泉に娘を入れることは無理ですし、近頃は「おむつの方利用不可」と貼り紙がされるようになってきたので、もちろん遠慮しています。広々家族で入れてとても嬉しかったです。娘も嬉しそうにお風呂に入っていて、やっぱり好きなんだなあと思いました。リフレッシュして元気をたくさん充電できました。

会計報告

会計担当　齋藤一文

甲府一高あおぞら会の会計年度は4月から翌年3月迄となっておりますので、年報発行時には会計が確定しておりません。平成28年1月20日現在の状況をご報告させていただきます。

1．収入＝合計987.000円

(1)会　費=513,000円　現在の会員数　174名　(難病ネット会員で会費免除の方3名を含む)

(2)参加費=137,000円　4月25日に実施しました新緑ウォークの参加費

(3)寄付金=337,000円　新緑ウォーク、同窓会、東京同窓会での寄付金(募金)、及び会員の皆様からの個別の寄付金

2．支出＝合計198,228円

(1)経　費=101,574円　新緑ウォーク行事費用

(2)事務費=　42,264円　支払手数料、通信費、運送費、消耗品費

(3)広報費=　54,400円

3．支援金 ＝ 788,762円　1．収入より2．支出を差し引いた金額があおぞら共和国への 支援可能な金額となります。

◆今後、年度末までに、主な支出としては年報の発行配布費用を、見込んでおりますので、　最終的なあおぞら共和国への支援金額は、**750,000円**程度になるものと予想しております。

◆今年度末の会計につきましては、確定次第、甲府一高あおぞら会のホームページに発表させていただきます。

会員の更新（会費納入）のお願い

1月20日現在で、加入申し込みが183名からあり、会員数は、会費を納入いただいた方及び会費免除の方を併せて174名となっております。甲府一高あおぞら会の会計年度は4月1日から翌年3月31日です。会員の方は本年報に同封いたしました、ゆうちょ銀行振込用紙にて、甲府一高あおぞら会 口座番号　00110-9-323825 へ振込みをお願いいたします。入金をもって会員の更新とさせていただきます。他の銀行から、振込みを行う場合は、下記の指定でお願いします。複数年度分の一括会費払込みは、手続き上の理由でご遠慮いただいております。

銀行名：ゆうちょ銀行　　金融機関コード：9900　店番：019　　店名：０一九（ぜろいちきゅう店）

預金項目：当座　口座番号：0323825　（口座名：甲府一高あおぞら会）

会員 年会費 3,０００円　年度途中加入の割引、退会時の払い戻しは行っておりません。認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」の正会員、賛助会員(B)の方（事務局まで申告された場合）の会費は無料です。

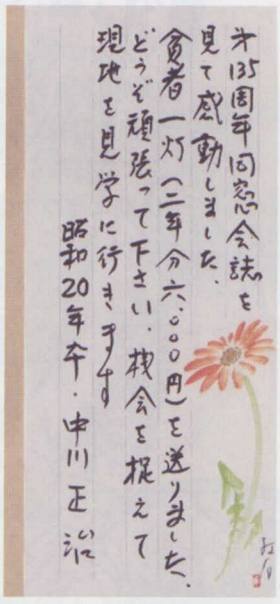
会員からの声

中川正治様　～略～～突然ですが、「お年玉」として寄贈します。私存命中は毎年この時期に送ります（乱暴な方法ですがお許し下さい）その理由は、私11才（昭和15年）の時、当時は不治の難病といわれた肺結核にかかり、休学せよのピンチにたたされました。この難局を克服し今あるは父・母の強い愛情と六人の姉・妹・弟の理解と協力あったればこそでした。（当時は良薬なく、栄養物をとり、休養することしかなかった）この恩をこんな形で世間様に恩返ししたく行動した訳です。皆様方の熱意に感銘を覚えてのものです。（2016年1月のお手紙より）

N.M.様　『紅葉ウォーク』では、車いす介助をしながら、とても気持ちよさそうな笑顔をもらえ、元気がでました。

M.K.様　朝日新聞でこの会の存在を知りました。同窓会の中で、こういう活動ができているということがすばらしいと思います。なかなかイベントなどには参加できないですが、施設が早く完成できるように少しですが、支援を続けたいと思います。

R.M.様　何も分からず、同級生の勧めで会員になりましたが、フェイスブックで、建物が増えていくのを見て驚いています。今後が楽しみです。来年は草刈りに参加します。



会費送付時のお手紙

甲府一高あおぞら会 実行委員

2015年12月31日現在の甲府一高あおぞら会の実行委員は以下のメンバーです。
（年数は卒業年、無印は昭和、Hは平成です。）
実行委員を広く募集しています。山梨の方、50歳未満の方大歓迎です。

会長 露木 和雄（45年）　副会長 軽石 泰孝（50年）　事務局 山本 秀彦（41年）　谷口 百合子（36年）
宇野 由美子（40年）　田伏 純子（44年）　雨宮 俊彦（45年）　小口 弘毅（45年）　齋藤 一文（45年）
佐々木まち子（45年）　斎木 裕子（50年）　高橋 久（51年）　上松 裕之（H3年）　保坂 香子（H3年）

甲府一高あおぞら会の発起人でもある実行委員の佐々木まち子さん（45年）が2016年1月に永眠されました。
心から哀悼の意を捧げるとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

お友達を誘ってください。（新規入会のご案内）

会員の皆様の友人、知人の方に、白州の「あおぞら共和国」とその支援活動を紹介し、甲府一高あおぞら会に誘ってください。入会申し込み用紙に 氏名、甲府一高卒業生の場合は卒業年、紹介者のお名前、住所、電話番号、メールアドレスを記入して、以下の甲府一高あおぞら会までFAX、郵送、メールにてお送りください。甲府一高あおぞら会ホームページの入会者募集ページの詳細説明、申込み用紙を参照してください。

〒252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台1-7-7おぐちこどもクリニック内　甲府一高あおぞら会行
FAX：042-786-4132　ホームページ：http://www.ymkp.net/aozora/　事務局mail：aozora@ymkp.net

ホームページとフェイスブック

入会のお申し込み以外にも、活動の様子、草刈りボランティアや紅葉ウォークなどの日程や詳細は、ホームページとフェイスブックにてお知らせしています。ご参照の上、活動にぜひご参加ください。

facebook →
http://urx.nu/il6t
←ホームページ